

合格体験記(就職編)

就職活動

栄和産業（技能職）

私は中学生の時から高卒で就職しようと決めていました。絶対にこの仕事が出来たいというような具体的な目標はありませんでしたが、家から近くて農芸高校で身につけた知識や技術を活かせるような仕事に就きたいと思っていました。

そして、その条件とピッタリの職場に就職することになりました。

通常は、自分のやりたい仕事に就けることは少ないと思います。ですから、その選択肢を少しでも広げるために成績や就職模試の結果が大事になってきます。

また、受験先が決まり、準備するにあたって、自分について考えることが多くなります。自分の長所・短所や今まで頑張ってきたことをたくさん書けるようにいろいろなことに挑戦してください。資格や委員会など自分から進んでやったことは必ず役に立ちます。失敗を恐れず、今、挑戦できることにどんどん挑戦してみてください。頑張ってください。

ちゃんとした方が良い

蓬萊（店舗スタッフ）

私は就職活動を通して、日頃からの準備が大切だということを知りました。2年生から就職説明会が始まり「就職とはどのような事か?」「就職するにあたって何が必要なのか?」をきっちりと教えてもらいました。正直、初めの頃は「そこまでちゃんとする必要あるのかな?」と思っていましたが、実際に志望していた会社に面接に行った際や、ハローワークの方々の面接練習などでとても役に立ちました。もし、3年生から学校で行われる就職準備講座でちゃんと話を聞かず、バイトの面接と同じような感じで採用試験に行っていたら、絶対に不採用になっていたと思います。そして、実際に会社の筆記試験を受けてみて、就職模試も日頃からしっかり勉強しておいた方が良いと感じました。

そのような理由で、私は、内定をいただくにあたって必要なことは、学校で行われる就職準備講座や面接練習は気を抜かないことが大切だと思いました。

苦 to 栄光

ノーザンファーム（生産スタッフ）

私が厩務員という仕事を選んだ理由は、まず、動物が大好きであるということです。私は小さい頃から動物が大好きで、動物園の飼育員になりたくてこの高校を選んで活動してきました。3年の進路選択時には動物園の飼育員になるには進学を選ぶ必要がありました。しかし、私は進学で最低2年間専門的に学びを深めるよりは、「卒業してすぐに動物と関わる仕事がしたい!」と強く思い、就職することに決めました。そこから私の仕事選びが始まり、たくさんの会社のHPやパンフレットを見て、自分がしたいと思える仕事を探していきました。

就職活動の中で一番苦労したのは面接練習です。言葉遣い・態度・表現が特に難しかったです。そのため本番に向けて、たくさん練習を重ねました。

動物と関わる仕事に就けたことは嬉しく、春からが楽しみです。農芸高校に入学して3年間、家畜・愛玩動物について深く学び過ごしてきたことは、この先どんな事を始めようとも、かけがえのない経験になっているはずです。皆さんには「今」を大切にしてほしいと思っています。

土木(造園)の公務員就職で感じたこと大事なこと

大阪府技術職 土木(造園を含む)

私は最初、卒業後に農業の道を行こうと思い、農業大学校に行くことを検討していました。しかし、家族から大阪府の土木(造園)の公務員の募集があると言われ、更に試験に高校で学ぶ造園分野の問題があることを知り、受けることを決めました。

試験問題は、一般教養問題と土木や造園などの専門の問題が出てきます。まず、一般教養問題は、専門学校で無料のセミナーなどに積極的に参加すれば大丈夫だと思います。数的処理は難しかったので、よく勉強した方がいいと思います。

専門の問題は農業の先生に造園分野の問題を教えてください。放課後や夏休みなどに特別授業を開いてくれるので、積極的に参加すれば、安心して造園分野の試験に挑めます。土木分野の勉強は、自分で教材を買って勉強しましょう。

面接では自分が土木公務員になって何をしたいのかを積極的に話しましょう。

また、インターンシップに参加すると、話の幅が広がり面接を有利に進められると思います。様々な先生と面接練習をし、万全な状態で面接を受けましょう!

土木(造園)の公務員就職に向けて

堺市技術職 土木(農学・造園を含む)

私が2年生で進路について考えていた時、農業科の先生に土木公務員という提案を頂き、農芸高校での経験を活かせば土木公務員になれるのではと思い、公務員試験の勉強を始めました。まず、公務員試験の一般教養の過去問題集を買いました。

英語は苦手で、テストで赤点は当たり前でしたが、公務員の教養試験は選択問題である上に、英語の問題は2問ほどなので英語の勉強には手を付けませんでした。

数学は得意で、定期テストで100点を取ったことがあり、教養試験では数的処理という形式で数学とは別に問題があるので、更に磨きをかけて数学の点数は確実に取るようにしようと思い、猛勉強しました。他の教科は過去問題を頼りに2周ほど解いて、1次試験に挑み、結果は数学、数的処理の分野だけで全体の3分の1ほどあり、他の範囲も大方解けて、1次試験に合格しました。

2次試験は、論文試験100点、面接試験が300点の400点満点で、面接に力を入れて練習をしました。農業科の先生や、担任の先生、最後は校長先生と面接練習をして面接試験に挑み、合格することができました。